

令和4年度の教育大綱関連事業について

◆幼児期の取り組み

方針① すべての子どもの健やかな成長に向けた切れ目ない支援を推進します

(予算額:17,236,981 千円)

<主な事業>

(予算額)

○民間保育所建設・増設支援事業(ほいく課)

・・・94,528 千円

目的	民間認可保育所の設置等を支援し、保育所等入所待機児童の解消を図ります。
手段・手法	・社会福祉法人等の保育所設置認可申請等の手続きを支援します。 ・社会福祉法人等に対して補助金を交付します。
R4年度の 実施事項	・保育ニーズの状況を適確に捉え、保育所等の新設や定員拡大等を図ることにより保育の受け皿を確保し、引き続き待機児童ゼロの継続に務めます。 ・2園の整備に対し、補助金を交付します。

◆義務教育期の取り組み

方針② 新しい時代を生きる子ども一人ひとりの確かな学力を育みます（予算額：1,501,305千円）

<主な事業>

（予算額）

○学力向上対策推進事業(指導室)

・・・233,543千円

目的	児童生徒への学習支援を行うとともに、特に小学校の若手教員の指導力を養うことで、総合的に学力の向上を図ります。
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において「放課後寺子屋やまと」「夏休み寺子屋やまと」「放課後子ども教室(ひろば)」を開催します。 ・小学校教員の指導力向上のための支援を行います。 ・中学校において「中学校寺子屋やまと」「長期休業期間中における学習支援」を開催し、授業中、放課後及び長期休業期間中の学習支援を行います。 ・オンライン学習システムを市内全児童生徒が使用できる環境を整備します。
R4年度の 実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターと学習支援員との運営による「放課後寺子屋やまと」とチーフパートナーとパートナーとの運営による「放課後子ども教室(ひろば)」の日程を調整し、平日週5日、いずれかの事業を開催します。 ・小学校にて「夏休み寺子屋やまと」を開催します。 ・指導主事が学校へ出向き、学校の研究や授業の指導などについて助言します。 ・コーディネーターによる、経験の浅い小学校教員に対する指導を継続的に実施し、授業力の向上を図ります。 ・中学校において、少人数指導非常勤講師(英語・数学)、学習支援コーディネーター、学習支援員を各校に配置し、生徒の学習支援を行います。 ・一人一台端末で使用するオンライン学習システムを導入し、動画教材とデジタルドリルによる「学びなおし学習」や「先取り学習」など、個別最適な学習を実現します。

方針③ 様々な体験を通し、豊かな感性を育みます

(予算額:435,565千円)

<主な事業>

(予算額)

○学力向上対策推進事業(指導室) 【再掲】

・・・233,543千円

方針④ 安全で安心して学校生活を送れる環境を整えます

(予算額:4,224,502千円)

<主な事業>

(予算額)

○小学校大規模改修事業(教育総務課)

・・・97,717千円

目的	児童及び学校関係者の学校生活における教育環境の向上を図ります。
手段・手法	・建設年度及び現在の状況を総合的に判断し、学校施設の改善や設備の新設・更新を行います。
R4年度の実施事項	・市立小学校における老朽化した施設の整備・改善を行います ・令和5年度は第4学年で少人数学級が法制化されるため、パソコン教室を普通教室に改修します。(林間、西鶴間)

○いじめ等対策事業(指導室)

・・・18,212千円

目的	市立小中学校におけるいじめの撲滅を目指すとともに、子どもたちが安心して学校生活を送れるような学校づくりに取り組みます。
手段・手法	・いじめ防止を学校指導者・地域で考え、行動に移せるよう教育フォーラムを開催します。 ・児童支援中核教諭に伴う非常勤講師を配置します。 ・全小中学校に対して児童・生徒指導研修会(訪問研修)を実施します。 ・スマートフォン用の匿名報告・相談アプリケーションを市内全生徒が使用できる環境を整備します。
R4年度の実施事項	・全小学校において指導体制の充実を図るため、児童支援中核教諭を校内から選任し、その授業代替要員として非常勤講師を配置します。 ・大和市のいじめ防止基本方針に基づき、いじめ問題対策連絡協議会や、いじめ問題対策調査会を定期的で開催します。 ・匿名報告・相談アプリケーションを、中学校全生徒に加え、新たに小学校5・6年生も使用できるようにします。

方針⑤ 多様性を尊重し、他者と共に生きる社会性を育みます

(予算額:172,766千円)

<主な事業>

(予算額)

○引地台中学校分教室整備事業(指導室)

・・・18,199千円

目的	不登校状態が長期化した生徒を支援するための施設として、引地台中学校分教室を整備します。
手段・手法	・不登校状態が長期化した生徒を支援するための施設として、引地台中学校分教室を整備するため、内外装の整備のための改修工事を実施します。
R4年度の 実施事項	・生徒が通いやすい施設に整備するため、引地台中学校分教室の改修工事を行います。

方針⑥ 放課後の居場所づくりを推進します

(予算額:794,256千円)

<主な事業>

(予算額)

○放課後児童クラブ事業(こども・青少年課)

・・・491,068千円

目的	保護者の就労や疾病等により放課後等に家庭において健全な育成を受けられない児童に対し、適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の余裕教室等を活用し、資格を有する支援員等により児童クラブの運営を行います。 ・公営児童クラブのない学区(南林間小学校、西鶴間小学校)については、民営の児童クラブに業務委託します。 ・公営及び委託民営児童クラブに入会できない児童(入会保留児童)を受け入れた他の民営児童クラブについては、その人数により、市から運営補助金を交付します。
R4年度の 実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・公営児童クラブ(17クラブ)の運営、民営児童クラブ(2クラブ)の委託を行うとともに、入会保留児童を受け入れた民営児童クラブ(6クラブ)へ運営補助金を交付します。 ・保育の質の向上を図るため、公認心理師や保育士の資格を有する職員が定期的に児童クラブを巡回し、保育に関する助言を行います。

◆ 幼児期～義務教育期～青年・成人期の取り組み

方針⑦ 健康に関する教育を推進します

(予算額:417,170千円)

<主な事業>

(予算額)

○3歳6か月児健康診査事業(すくすく子育て課)

・・・15,562千円

目的	3歳6か月児の発育や発達等を確認することで、支援が必要な幼児の早期発見や早期対応を行うとともに、保護者の育児不安の解消を図ります。
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・集団健診により月3回実施します。一般健康診査では心身の発育発達や疾病の有無について診察し、歯科健康診査では、むし歯や口腔内の異常等を診察します。 ・視聴覚検査は専門機関に委託し精度管理を図ります。 ・健康診査の中では育児、栄養、歯科、こども(心理)相談を行います。 ・受診率を高めるために、個別に受診勧奨通知を送付します。また、未受診児に対しては、家庭訪問により受診勧奨します。
R4年度の 実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚検査に新たに屈折検査機器を導入し、検査精度の向上を図ります。 ・月3回(年36回)、集団健康診査(地域医療センター)を実施します。

○産後ケア事業(すくすく子育て課)

・・・9,423千円

目的	出産後まもない時期の母子に対して、心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保します。
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・市内産科医療機関でデイサービス型支援を実施します。 ・母親の身体的ケア及び保健指導、栄養指導、心理ケア授乳指導、育児相談を行います。 ・食事や休養の場の提供を行います。 ・「子育て何でも相談・応援センター」の専任保健師が利用にあたって面接もしくは訪問を実施し、状況を確認、他のサービス利用を含めたコーディネートを実施します。
R4年度の 実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・通所(デイサービス)型に加え、新たに訪問型を実施します。 ・デイサービス型 <ul style="list-style-type: none"> 実施機関:2か所 サービス提供時間:4時間(1か所)、6時間(1か所) ・訪問型 <ul style="list-style-type: none"> 開業助産師委託:2か所 サービス提供時間:3時間(記録・事後調整含む)

方針⑧ あらゆる世代の知性を高め人生を豊かにする読書活動を促進します

(予算額: 673,415 千円)

<主な事業>

(予算額)

○図書館管理運営事業(図書・学び交流課)

・・・595,020 千円

目的	図書館の円滑な管理運営を行います。
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度を活用し、図書館の管理運営を行います。 ・図書館の運営に必要なインフラの管理をします。
R4 年度の 実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度を活用し、市内 3 館の図書館の管理運営を行います。 ・「絵本のまち」の具現化に向けて、セカンドブック事業、まちなか絵本スポット事業、(仮称)やまと絵本大賞を行います。 ・電子図書館の充実・強化を図ります

方針⑨ 「人生100年時代」に輝く「学び」の取り組みを推進します

(予算額: 1,824,858 千円)

<主な事業>

(予算額)

○健康都市大学事業(図書・学び交流課)

・・・6,144 千円

目的	学びを通じた、市民の新たな居場所づくり、市民どうしの繋がりの創出を図るとともに、市民の充実した学習環境を整備します。
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・市や外郭団体などが実施する講座等に共通のポイント制度を設定するほか、当事業を構成する多種多様な講座を広く周知することなどにより、市民の学習意欲の向上を図ります。 ・市民が講師を務め、市民どうして学び合える場「市民でつくる健康学部」の講義を実施します。
R4 年度の 実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が講師を務める「市民でつくる健康学部」の講座等を企画、運営します。 ・市や外郭団体などが実施する講座等の情報をまとめたガイドブックの発行や、受講ポイントの管理を行います。 ・毎月第一火曜日にシリウス6階で「健康都市大学 月イチ学園祭」を開催します。